

平成 2 5 年度
保健福祉局予算要求方針

【目次】

- 1 平成 2 5 年度保健福祉局予算要求総括表及び経営方針 1
- 2 重点的に取り組みを行う主なもの 5

1 平成25年度保健福祉局予算要求総括表及び経営方針

(1) 平成25年度保健福祉局予算要求総括表

【一般会計】

平成25年度要求総額 137,829,574千円
 (平成24年度予算額 132,185,411千円)
 前年度比 4.3%

《主な事業》

(単位：千円)

| 事業名 | 平成25年度 予算要求額 (A) | 平成24年度 予算額 (B) | 増減 (A - B) |
|-------------------------|------------------------|----------------------|---------------|
| (仮称)健康づくり応援店事業 | 14,794 | 0 | 14,794 |
| (仮)いのちと こころの支援事 業 | 30,905 | 0 | 30,905 |
| 認知症対策普 及・相談・支援 事業 | 9,957 | 9,732 | 225 |
| 総合療育センタ ー再整備事業 | 76,245 | 11,000 | 65,245 |
| 生活保護費 | 48,124,000 (算定中) | 48,124,000 | — |
| 定期予防接種事 業 | 2,417,852 | 1,979,357 | 438,495 |

【国民健康保険特別会計】

| | |
|------------|----------------|
| 平成25年度要求総額 | 120,770,000千円 |
| (平成24年度予算額 | 120,393,000千円) |
| 前年度比 | 0.3% |

〔単価及び諸係数が国から示されていないため、国の内示後に変更予定〕

【食肉センター特別会計】

| | |
|------------|------------|
| 平成25年度要求総額 | 532,000千円 |
| (平成24年度予算額 | 355,000千円) |
| 前年度比 | 49.9% |

【介護保険特別会計】

| | |
|------------|---------------|
| 平成25年度要求総額 | 82,641,048千円 |
| (平成24年度予算額 | 78,478,000千円) |
| 前年度比 | 5.3% |

【後期高齢者医療特別会計】

| | |
|------------|---------------|
| 平成25年度要求総額 | 14,249,000千円 |
| (平成24年度予算額 | 14,002,000千円) |
| 前年度比 | 1.8% |

〔福岡県後期高齢者医療広域連合に対する納付金について同広域連合から額の提示があったあとに変更予定〕

(2) 平成25年度 保健福祉局経営方針

少子高齢化の急速な進行、単身世帯の増加、住民同士の交流や支え合いの希薄化、福祉・医療に係る負担の増大など、市民の暮らしを取り巻く状況は急速に変化している。

こうした中で、将来へ向けて安全・安心で活力ある地域社会をつくるためには、地域社会が一体となって「超高齢化」に対応したまちづくりに取り組み、市民サービスの向上を図りながら新たな雇用を生み出し、人材の確保・育成と定着促進を図るなど、健康・福祉の視点から新たなまちの価値を創造する必要がある。

こうした考えのもと、「元気発進！北九州」プランや各分野別計画の着実な推進を図るため、保健福祉局の目標を「すべての市民が健やかで心豊かに生活し、いきいきと活躍できる“参画”と“共生”のまちづくり」とし、その実現に向けて以下の5項目を重点的に取り組む。

1 健康の維持・向上

すべての世代が地域のつながりの中で、健やかで心豊かに生活できるよう、平成25年度からの「(仮称)北九州市健康づくり推進プラン」に基づいて、市民の自律的・主体的な健康づくり活動を支援する。

【重点事業】

【新規】健康づくり応援店事業《チャレンジ枠》

【新規】健康づくり活動推進事業

【新規】(仮)いのちとこころの支援事業

【新規】次期食育推進計画策定事業 など

2 高齢者施策の推進

高齢者が生きがいを持ち、地域の担い手として活躍できる環境づくりを進めるとともに、認知症や介護が必要な状態になっても、住み慣れた地域で安心して生活できるよう、介護を支える「人づくり」とサービスの拡充に取り組む。

【重点事業】

【新規】(仮称)介護の職場イメージアップ・環境改善チャレンジ応援事業《チャレンジ枠》

【拡充】介護支援ボランティア事業

【拡充】認知症対策普及・相談・支援事業

【拡充】認知症高齢者等安全確保事業

民間老人福祉施設整備補助事業 など

3 障害者支援の推進

障害があっても、その人らしく生活できる社会の実現に向けて、生涯を通じ一貫した相談支援体制の強化や市立障害福祉施設の再整備を図るとともに、雇用・就業機会の拡大など、自立に向けた意欲を支える環境づくりを推進する。

【重点事業】

【新規】障害者就労支援強化事業《チャレンジ枠》

- 【拡充】障害者相談支援事業
- 【拡充】発達障害者総合支援事業
- 【拡充】総合療育センター再整備事業 など

4 地域における見守り・支え合いのネットワークづくり

地域社会が一体となった見守り・支え合いのネットワークづくりに取り組み、身近なところで生活に必要な機能の備わったコミュニティの維持を目指す。

また、生活を支える最後のセーフティネットとして、適正な生活保護を実施するとともに、実効性のある自立支援に取り組む。

【重点事業】

- 【新規】地域協働による買い物支援モデル事業《チャレンジ枠》
- 【拡充】生活保護受給者に対する自立支援事業
いのちをつなぐネットワーク事業 など

5 地域を支える医療・衛生管理体制の充実

市民の健康と安全を守り、住み慣れた地域で安心して生活できるよう、多職種連携による在宅医療の支援や、夜間休日初期救急医療など、質の高い地域医療の提供に取り組む。あわせて食の安全の確保や感染症対策などに取り組む。

【重点事業】

- 【新規】(仮称)北九州市医療・介護ひまわりネットワーク推進事業《チャレンジ枠》
- 【拡充】第2夜間・休日急患センター運営費
- 【新規】食肉センター老朽化対策
- 【新規】斎場の老朽化対策
- 定期予防接種事業 など

地域活性化戦略事業(チャレンジ枠・再掲)

高齢化が進む本市の現状を踏まえ、業種や分野の違いを超えた協働事業など、地域ニーズに対応した新たな施策に取り組むことにより、市民の健康や安全安心の向上を図りながら、新たな雇用や地域活力の創出に繋げていく。

【重点事業】《 》は経済対策として期待される効果

- 【新規】健康づくり応援店《商業の振興》
- 【新規】(仮称)介護の職場イメージアップ・環境改善チャレンジ応援事業
《雇用創出・若者の就労支援・人材の確保と定着の促進》
- 【新規】障害者就労支援強化事業《障害者の雇用創出》
- 【新規】地域協働による買い物支援モデル事業《雇用創出、新たな商業やソーシャルビジネスの振興》
- 【新規】(仮称)北九州市医療・介護ひまわりネットワーク推進事業
《新たな産業の振興、雇用の創出》 など

2 重点的に取り組みを行う主なもの

(1) 健康の維持・向上

- 2・新規 (仮称)健康づくり応援店事業 14,794千円
チャレンジ枠

「食」と「禁煙」の分野において、減塩やバランス食の提唱及び受動喫煙防止などに取り組む食関連事業者等を支援することにより、市民の健康づくりを推進するとともに、飲食店の消費拡大や雇用創出につなげていく。

- 2・新規 健康づくり活動推進事業 3,927千円

職域や地域における健康づくりに関する優れた取り組みを表彰することで、健康づくりの機運を醸成し、職域から地域まで切れ目のない健康づくりを推進する。また、受賞した企業等で協議会を構成し、健康づくりの普及啓発・情報発信について継続的な仕組みづくりを行う。

- 2・新規 (仮)いのちとこころの支援事業 30,905千円

自殺対策の強化を目的に、新たに「(仮)いのちとこころの支援センター」を設置し、専門相談支援チームによる相談・支援等に取り組む。

- 2・新規 次期食育推進計画策定事業 4,422千円

現在、「北九州市食育推進計画」に基づき、食を通じた健康づくりや食の安全確保、地産地消の推進などに取り組んでいるが、現計画が平成25年度で終了するため、平成26年度からの次期計画を策定する。

- 2・継続 健康マイレージ事業(一般会計及び介護特会) 68,152千円

生涯を通じた健康づくりを推進するため、介護予防・生活習慣改善等の取り組みや健康診査の受診等をポイント化し、そのポイントを健康グッズなどと交換することで、健康づくりの重要性を広く普及啓発するとともに、市民の自主的かつ積極的な健康づくりへの取り組みを促進する。

- 2・継続

がん検診推進事業

236,761千円

一定の年齢の方に、子宮頸がん検診・乳がん検診・大腸がん検診の無料クーポン券や検診手帳を送付し、がん検診への理解を深めてもらい、検診のきっかけづくりにするとともに、受診率の向上を図る。

- 2・継続

国民健康保険特定健診特定保健指導（国保特会）

805,053千円

生活習慣病を予防するための特定健診の受診率向上を図るとともに、効果的な特定保健指導を実施する。また、特定保健指導対象者以外についても、健診結果や医療費データ等を分析して健康課題を明確にし、効果的な保健指導を行う。

- 2・継続

公園で健康づくり事業

4,398千円

高齢者の健康づくりに効果的な健康遊具を設置した公園で、健康遊具の適切な利用法や運動方法を学ぶ教室を開催するとともに、普及員の養成を通じて、身近な公園を活用した市民の自主的かつ継続的な健康づくり活動を推進する。

- 2・継続

元気にエンジョイ！うす味生活プロジェクト

5,601千円

地域で自主活動を展開している食生活改善推進員協議会と連携した減塩教室や、体験型イベント、公共交通機関を利用した普及啓発等を行うことで、効率よく市民の食を通じた生活習慣病予防の理解を深める。また、歯周病と生活習慣病の関係等についての普及啓発を図るための口腔ケア指導を行う。

- 2・継続

みんなで歩こう北九州

6,661千円

地域住民が世代を超えたつながりの中で主体的に健康づくりに取り組み、市民の健康づくりの機運を高めるために、ウォーキングマップの作成・周知やイベントの開催により、誰でも気軽にできるウォーキングを普及促進する。

(2) 高齢者支援の推進

- 2・新規
チャレンジ枠

(仮)介護の職場イメージアップ・環境改善チャレンジ応援事業
43,558千円

介護の仕事のイメージアップのためのPR事業を実施するとともに、介護現場の職場環境の改善に向けて取り組む事業者や次世代の介護現場を担うリーダーの養成の支援を行うことで介護関連雇用の促進を図る。

- 2・拡充

認知症対策普及・相談・支援事業

9,957千円

(うち拡充分513千円)

認知症を理解し、認知症の人やその家族を温かく見守る「認知症サポーター」の養成を推進させるとともに、本人や介護する家族が抱える不安や悩みを気軽に相談できるコールセンターを運営する。

- 2・拡充

認知症地域支援事業

7,048千円

(うち拡充分1,255千円)

地域の医療、介護、行政などのネットワークをコーディネートする認知症地域支援推進員を配置するとともに、若年性認知症について、市民や企業への啓発・情報提供の実施、介護する家族を対象とした交流会の開催を行う。

- 2・拡充

認知症啓発・早期発見推進事業(介護特会)

19,916千円

(うち拡充分5,534千円)

認知症に対する理解を深めるための啓発促進事業を行うとともに軽度認知障害(認知症の前段階として、記憶力の低下などが認められる状態)対策推進事業や脳の健康教室など、認知症の早期発見につながる施策の充実を図る。

- 2・拡充

認知症高齢者等安全確保事業(介護特会)

9,701千円

(うち拡充分7,609千円)

認知症による徘徊行動を行う高齢者等の安全確保のため、GPSを活用した位置探索システムの普及や、行方不明高齢者の早期発見のための徘徊探索模擬訓練のモデル実施など「徘徊高齢者等SOSネットワークシステム」の充実を図る。

- 2・拡充

家族支援等推進事業（介護特会）

5,635千円

（うち拡充分 781千円）

認知症等の高齢者を介護する家族を支援するために、高齢者見守りサポーターの派遣や介護のささえあい相談会、認知症介護家族交流会の開催を実施するとともに、外出先で介護をしていることを示す「介護マーク」の普及を図る。

- 2・拡充

介護支援ボランティア事業（介護特会）

18,933千円

（うち拡充分 17,826千円）

高齢者が介護保険施設等において、要介護者等に対する介護支援ボランティアを行った場合に、その活動実績を評価してポイント化し、ポイントを換金等することができる事業を実施する。

- 2・継続

民間老人福祉施設整備補助事業

425,800千円

要介護高齢者が、在宅生活が困難になった場合などにおいても可能な限り住み慣れた地域で生活を継続することができるよう、「第三次北九州市高齢者支援計画」に基づき、民間事業者が行う介護保険施設の整備に対する補助を行う。

（3） 障害者支援の推進

- 2・新規

障害者就労支援強化事業

チャレンジ枠

60,384千円

障害者の雇用人数アップと定着支援の充実を図るため、障害者就労支援センターの体制強化や研修等を行う。

- 2・新規

障害者商品開発・販路拡大等支援事業

チャレンジ枠

5,081千円

障害者の福祉的就労環境の向上、社会参加の推進を図るため、障害者作業所等の製品開発・販路開拓などの支援を行い、賃金・工賃アップへの取り組みを推進する。

- 2・新規
チャレンジ枠

障害福祉サービス事業者等の従業者定着支援事業

10,543 千円

指導者の継続的養成及び事業者の研修機会の確保等により、サービスの質の向上と事業所等における従業者の定着促進を図る。

- 2・拡充

障害者相談支援事業

144,400 千円

(うち拡充分 15,680 千円)

障害者基幹相談支援センターにおいて、相談者に十分配慮した丁寧な支援を行うため、人口の多い区について地区担当などの相談員を増員する。

- 2・拡充

発達障害者総合支援事業

50,890 千円

(うち拡充分 5,536 千円)

北九州市発達障害者支援センターを拠点に、各種相談への対応や市民への啓発、支援手法の開発などを行うとともに、ライフステージを通じた情報引継ぎの仕組みづくりや発達障害児の学習支援、高い専門知識等を有する支援人材の育成など、支援の強化を図る。

- 2・拡充

総合療育センター再整備事業

76,245 千円

(うち拡充分 65,245 千円)

障害児の療育及び医療の中核施設である総合療育センターの再整備に向けて基本計画の策定等を行う。

- 2・継続

市立障害福祉施設民間譲渡事業

18,698 千円

現在、指定管理者制度により運営している市立障害福祉施設について、民間事業者による独立した運営が可能な施設は、条件が整い次第、社会福祉法人に施設を譲渡する。

(4) 地域の支え合い・支援

- | | |
|------------------|---|
| - 1・新規 チャレンジ枠 | 地域協働による買い物支援モデル事業 12,000千円 |
| | 「買い物がつながりを生み、つながりが安心と活力を生む」という考えのもと、日常の買い物に不安を抱える地域の現状や、先行事例の実績を踏まえ、住民参加のワークショップ方式による買い物支援のモデル事業を実施する。 あわせて、市内で買い物支援に取り組む団体、事業者などの情報を集約し、新たな協働のネットワークと地域に密着した商業・サービス業の振興を図る。 |
| - 1・新規 | 民生委員児童委員一斉改選 13,278千円 |
| | 現委員の任期が平成25年11月30日で満了することに伴い、新たな委員を選任する。 |
| - 2・継続 | いのちをつなぐネットワーク事業 13,116千円 |
| | 地域における既存の見守り等の仕組みを結びつけ、網の目を細かくすることにより、地域全体で見守り、必要なサービスにつなげる「いのちをつなぐネットワーク」を推進する。また、民間企業・団体との協力関係づくりを推進する。 |
| - 1・拡充 | 生活保護受給者に対する自立支援事業 159,324千円 (うち拡充分 6,772千円) |
| | 稼働年齢層への効果的な就労支援など、実効性のある生活保護受給者の自立支援に取り組む。 |
| - 1・継続 | 不正受給防止対策推進事業 11,926千円 |
| | 生活保護の適正な実施のため、濫救防止に向けた不正受給防止対策を行い、適正化に努める。 |
| - 1・拡充 | 医療・介護扶助適正化事業 145,926千円 (うち拡充分 10,869千円) |
| | 生活保護の適正な実施のため、医療扶助・介護扶助の適正化に努める。 |

(5) 地域医療・衛生管理体制の充実

- 1・新規
チャレンジ枠

(仮称) 北九州市医療・介護ひまわりネットワーク推進事業
18,732千円

情報通信機器端末等の ICT 技術を利用して、在宅医療に従事する医療・介護職種の連携を支援することを通じて、地域の特性を踏まえた在宅医療・介護の包括的な提供体制を構築し、在宅医療従事者の負担軽減や家族が安心して外で働ける環境づくり（仕事と介護の両立支援）等につなげる。

- 1・拡充

第2夜間・休日急患センター運営費

364,973千円

(うち拡充分 7,694千円)

平成25年度にコムシティ内に移転開設する第2夜間・休日急患センターの運営を行う。

- 1・継続

定期予防接種事業

2,417,852千円

予防接種法に基づく定期予防接種を行う。国の法改正にあわせて、平成25年度からは子宮頸がん等ワクチンを定期接種として実施する。

- 1・新規

斎場の老朽化対策

177,711千円

建築後30年を経過する東部斎場及び西部斎場について、老朽化対策として大規模改修工事を行う。

- 1・新規

食肉センター老朽化対策（食肉センター特会）

181,539千円

建築後24年を経過する食肉センターについて、老朽化対策として大規模改修工事を行う。

(6) 市制50周年関連事業

- 3・新規

(仮称) 知覧特攻平和会館北九州展

11,962千円

戦争の惨禍や命の尊さを広く後世に伝えるため、交流協定都市である南九州市と連携し、8月1日から15日の間で、(仮称) 知覧特攻平和会館北九州展を開催する。

障害者スポーツ・芸術活動推進

43,505千円

(うち拡充分 9,550千円)

本市発祥のスポーツである「ふうせんバレーボール」の大会や、北九州市障害者スポーツ大会、北九州チャンピオンズカップ国際車椅子バスケットボール大会、障害者の芸術文化の祭典である「北九州市障害者芸術祭」を全国に情報発信し、障害への理解と本市のPRを積極的に進める。